子ども読書支援センターニュース　第１２号

2014.12.18
山梨県子ども読書支援センター

本誌は、県民の皆様に山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、
当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

＞＞児童青少年サービス講座中級編（第4回）を実施しました。

▲講座の様子

第4回は、10月16日（木）に「子どもに本を手渡すさまざまな方法～伝える・広げる・共に楽しむ」と題して、慶應義塾大学の汐﨑順子氏にご講義いただきました。

前半は、子どもに本をすすめるための様々な手法についてお話いただきました。まずは子どもと本を知り、読書について考えること、そして、子どもと本をつなげるにはどうすればよいかを考えることが必要ということでした。また、つなげる際には、本を単に手渡すだけでなく、本の中のもので遊ぶことも大切。しかし、イベントだけで終わるのはよくないので、本への興味を引き出す糸口とすることが大事だと重ねてお話くださいました。さらに、魅力ある棚づくりや、子どもが興味を持つ内容の短いスパンでの展示、ブックリストなどでの働きかけと同時に、子どもの自発性を認めながら、言いたいことに耳を傾けるカウンターワークやフロアワークの重要さについてもお話いただきました。

その後、わらべうたや手遊び、言葉遊び、科学遊びなどについて、実践を交えながらご紹介いただき、ブックトークやアニマシオン、ぬいぐるみのおはなし会などについてご説明いただきました。具体的でわかりやすく、また受講者自身も楽しめるような内容でした。「自分が楽しむことが一番大切」という講師のお言葉が印象に残ります。

後半ではグループディスカッションを行いました。学校図書館、公共図書館それぞれの経験や事例を基に、今後取り組んでみたい試みや、公共図書館と学校図書館で連携協力して行える取組などについて話し合いました。その後、グループで話し合った内容、意見、提案などを発表しました。各自治体におけるハード面やソフト面でのネットワークやシステムの構築、交流などの必要性、また、公共図書館や学校図書館それぞれの特性を活かした資料の提供や交流展示、先生方への働きかけや先生と公共図書館とのつながりが大切などの意見が出ました。

受講者からは「たくさんの事例や小ワザを知ることができたので、すぐに取り入れたいと思う」「グループディスカッションでは、他の自治体や館種の方と話ができ、学校図書館と公共図書館の連携について情報交換ができてよかった」等の感想が寄せられました。

＞＞読書週間の展示を行いました。

▲展示の様子

読書週間にちなみ、10 月 16 日（木）～11 月 9 日（日）まで、展示「めくるめぐる本の世界－読書週間 2014－」を行いました。期間中は、当館が作成した推薦図書の冊子「本にチャレンジ!!」（小学生向け）と「本ナビ」（中学生・高校生向け）に掲載した本を集め、対象別に紹介し展示しました。

また、より多くの方に見ていただくために、1 階児童カウンター前に展示場所を設けたことから、子どもたちだけでなく、冊子を見ながら気になる本をチェックする大人の方など、多くのみなさんで賑わいました。

＞＞第3回、4回子どもの読書活動スキルアップ講座（子どもと読書活動をつなぐ・連続講座）を開催しました。

第３回目の講座は 10 月 30 日（木）に開催しました。「新聞と本をつなぐＮＩＥ」と題して、元藤沢市教員で慶應大学院の有馬進一氏にご講演いただき、37 名の参加がありました。

学校教育の中で行われている子どもたちが新聞に親しむための取り組み（ＮＩＥ＝Newspaper in Education「新聞に教育を」）として、朝の読書の代わりに教員が集めた新聞記事を読む、新聞から気になる記事を選び起承転結の４コマ漫画を作成するなど、有馬先生が勤務された中学校での実践を紹介していただきました。また、海外視察で訪れたノルウェーや韓国などの状況なども報告していただきました。講義の後半では、実際に新聞と図書館資料を使ったワークショップを行いました。１つの記事から 10 冊の本へつなげる「ＮＤＣバトル」は、グループで本を集め、記事と本を結びつけるキャッチコピーを考え、記事を中心に本を円形に展示しました。その後、各グループごとになぜその本を選んだのかというプレゼンテーションを行い、互いの発表に真剣に耳を傾けていました。

参加者からは、「一つの記事をもとに様々な角度から本を選ぶという視点が新鮮で考えさせられた。」「ワークショップがとても参考になった。早速学校で実践してみたい。」等の感想が寄せられました。

そこで、県立図書館１階北側エレベータ付近でも、ワークショップを参考にＮＤＣバトルの紹介展示を行いました。

▲展示の様子

【ＮＤＣバトルの進め方】　①作戦会議…グループで新聞記事からテーマを１つ決め、図書館の本の並べ方（NDC＝日本十進分類法）を使い 10 冊の本を探す。②卓上ディスプレイ…記事を中心に本を円形に並べる。本には内容を紹介した言葉を付箋等で貼る。③プレゼンテーション…テーマとその本を選んだ理由を発表し、10 点満点で採点する。

第４回目の講座は 12 月４日（木）に開催しました。「図鑑で遊ぼう！」と題して、講談社第二出版部編集者の森定泉氏にご講演いただき、48 名の参加がありました。

近年出版されている図鑑は、従来の調べるための図鑑から、楽しみ、興味を育てるための図鑑へと変化しており、ＤＶＤの付録映像が付き、ひと目見て驚くような写真や迫力のあるイラストを中心に構成された、新しいタイプの図鑑が主流になってきているそうです。そうした新しいタイプの図鑑を使った楽しみ方として、大人と子供が一緒に図鑑を見ながら、クイズを出し合いコミュニケーションをはかったり、天文台の観測会など体験型のイベントに参加し、帰ってきてから図鑑を見直すなど、図鑑をきっかけに世界を広げ、新しいことを知る面白さや楽しさを感じるひとつの入り口としての使い方をご紹介いただきました。

▲第４回講座の様子

参加者からは、「調べるための図鑑から興味のきっかけとなる図鑑へと、図鑑についての印象が変わった。」「新しい図鑑の楽しみ方を知ることができて新鮮だった。」等の感想が寄せられました。

最終回、第５回目の講座は、平成 27 年２月 13 日（金）にアニマシオンをテーマにしたワークショップの開催を予定しています。詳しくはホームページ等をご覧ください。